



連座制は不要。派閥の会長が全責任を取れば良い

会社の社員が不正をしたら、社長は「部下が」で逃げる事は出来ない。監督責任がある。ダイハツの不正に第三者委員会は「責められるべきは現場ではなく経営幹部」と指摘。パーティ券代のキックバック、中抜きで裏金作りという不正に自民党は「連座制」を云々している。

連座制は要らない。派閥の会長が派閥の全責任を負うものなのだ。

政治資金収支報告？

自民党は「政治資金収支報告書」への記載漏れで誤魔化そうとしている。しかし、問題の本質は裏金。「どこから裏金に来て、どこに流したのか」が明らかにならないければ誰も納得しない。

豊田真由子元衆院議員(安倍派)は「よんちゃん(安倍派)は」

NTVで「選挙時有力者に挨拶に行ったら『応援してもらいたかったら持って来い』と言われた」と裏金を要求された事を話している。

自民党への企業献金

パーティ券も重要だが自民党への企業からの巨額献金が更に問題だ。

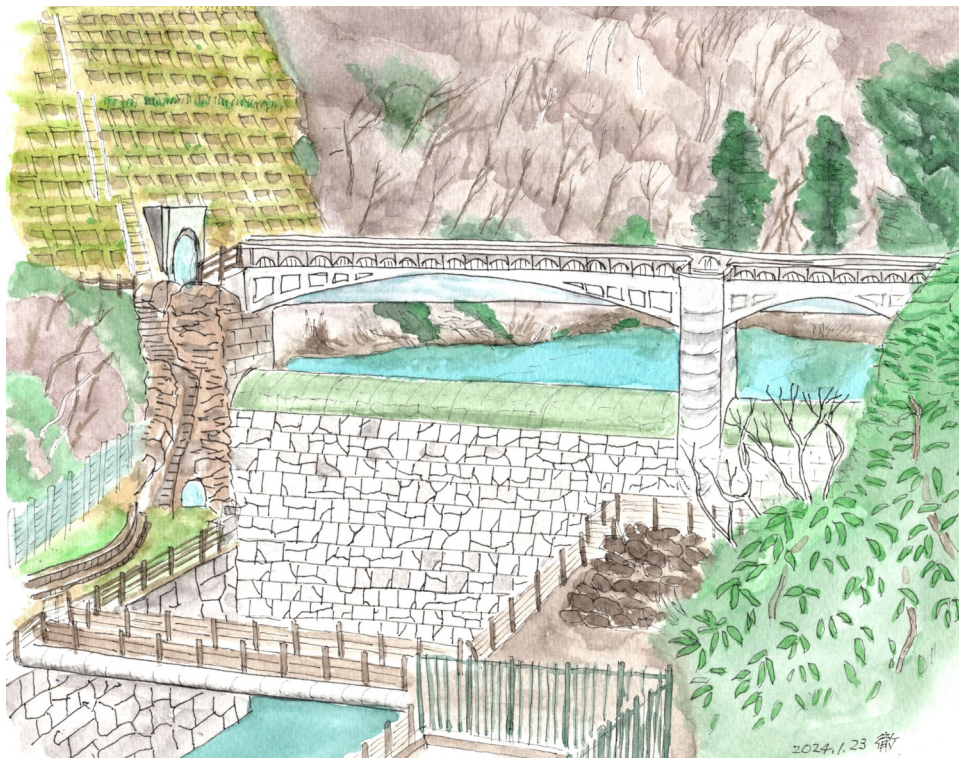
二〇二一年に住友化学、トヨタ自動車、三菱重工など26社で七億円余り国民協会を通じて自民党に献金。

何の見返りも無く巨額の献金をするだろうか？

そして、一体何に使われたのか、これも解明しないといけない。

裏金の原資はパーティ券だけではない。巨額の企業献金、そして官房機密費も考えられる。

あなたはこう思われますか？



石小屋ダム (宮ヶ瀬ダム副堰堤)

神奈川県愛甲郡愛川町字向原と字大沢の間
二〇二四年一月

石小屋ダムは神奈川県の水がめ宮ヶ瀬ダムから八百m下流にある高さ約三四mのダム。高さ一五六mの宮ヶ瀬ダムからの放流水は大変な勢い。川底に直接放流するとどんどん削られる。そこで水を溜め勢いを弱めるのだ。

又、宮ヶ瀬ダム直下にある発電所は電力需要の多いピーク時に発電する。その時、放流する水を石小屋ダムに溜め、ゆっくり放流し川の流量の急変を防ぐ。

更に、宮ヶ瀬ダムと石小屋ダムの間に取水ゲートがある。津久井湖(城山ダム)の貯水量が減ったとき、宮ヶ瀬ダムから融通する水門だ。そこから取水する為に水位を確保するのこのダムの目的。

地味な石小屋ダムだが、耳を澄ませば「ボクも見て」と云う声が聞こえる筈。

